

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく生活して頂く為に、体調の良い限りはなるべく近所まで散歩に行ったり、職員と一緒に、買い物に行ったり積極的に外出する事を、心掛けている	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念にそって日々、利用者様が、一日でも多くその人らしく生きがいを、もって楽しく生活できるにはどうしたらよいかという話題について考えている。	○
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	グループホームの居間（良く目立つ所）に、理念を掲げ家族の面会や運営推進会議等で地域の人びとに理解して頂ける様に、努めている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	グループホーム自体が、地域の中で孤立してしまわないように積極的に自治会行事に参加したり運営推進会議では、その都度、地域の方の意見をもとめている。散歩などの外出では、声掛けをしている。または、相談にも乗っている。（内容は様々。）	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の行事（公民館での絵画等の展示会の見学）、神事、防火訓練等にも、出来るだけ参加する。回覧板等は、隣近所のお家の小さなお子様が、届けて下さる。	○

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	体調を、悪くされ入院された独居老人の退院後の生活（安否確認やゴミ出し）に、少しでもお役に立つよう負担にならない程度の支援をしている。回覧板なども代理で回している。	○	地域の高齢者の方（特に、独居の方等）個人個人で悩みを、抱え込まないように声掛けをし気軽に相談して貰えるような雰囲気作りをしていきたい。（些細な事でも）
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価された事を、取り上げ意見を出し合いながら改善して行くよう努めている。（地震・火災対策・危険物の置き場所等）	○	職員が、皆で気を付けている。意見を交換し合う。
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者様からの積極的な意見（改善点等）を聞き入れ可能な事柄で、あれば実行している。（緊急時のマニュアルが、明記してある掲示物の字が、小さいのでは？という指摘有り。）	○	グループホーム内では、これで良いと思っけていても改善していった方が、良いこともある。外部からの新鮮な意見（指摘）は、貴重である。
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	『認知症患者を抱える家族の会』の窓口になっている。行政担当者とのコミュニケーションを取っている。	○	隣近所・知人の方から認知症患者を、抱えまだまだ他人に打ちあける事が出来ないで困っている家族の方の力に少しでもなれば良いという想いを持ち『窓口として』日頃から、職員同士でも話題に出来ると良い。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	講演等の勉強会・研修には、積極的に参加している。必要性は、関係者で話し合いをし必要とする人には、活用できるよう支援する。	○	既に、利用者の家族の中には、後見人制度を開始されている方もみえ、時にその情報も聞き入れ参考にしている。
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講演等の研修会があれば、積極的に参加する。	○	最近、マスコミ等で、取りざたされた岡山県津山市で起きたグループホーム(リング)での虐待事件は、記憶に新しく、その事件も参考に防止についても考える。何故、そのような事件が、起きたのか？等話題にしても良いのでは。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族等の不安や疑問点は、遠慮する事無く伝えて貰える様に心掛ける。(疑問点は、聞いて頂く。)	○	入所時と入所後、幾日か経てば状況も変わってくるので、その都度、伺っていく。家族との日頃からのコミュニケーションを、取り合う事が、大切とされる。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が、遠慮無く不満や意見を言えるような雰囲気作りを、心掛けて其の為に、ゆっくり対話できる時間を作るようにしている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	健康状態等で変化があった場合等は、電話連絡したり、面会時に報告している。(急な場合)		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	グループホームの玄関には意見箱、苦情受付のポスターなどを貼りいつでも聞き入る事が、出来るようにオープンにしている。又その意見を、参考にして役立てている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案の反映は、行われている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その都度、対応している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は、最小限としている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には、積極的に参加し情報の共有、資料の指導、助言等は、管理者が対応し職員も自発的に勉強している。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の支部会や勉強会、研修等に参加している。(レクレーション等の話も聞いて刺激を受け参考にもしている。)		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ミーティング等で、ストレス解消についての話が、出たり職員同士で、どんな事でも相談し合っている休み時間は、それぞれで寛いでいる。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務表の把握や職員との面談をし、理解している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人だけに面談を行い出来るだけ話をして頂く様にしている。(自室等、話やすい場所で)	○	本人と職員との信頼関係を第一に考え不安な事や困っている事に耳を、傾けて行きたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時や用事が、あって家族に電話をした際、話を受け止める様努力している。(話やすい雰囲気を作っている。)	○	入所初期に家族の思いを伺い、家族の気持ちを理解して信頼関係を築いて行きたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サマリー・健康診断書等により必要と思われる事を示させて頂き対応している。	○	必要に応じて他のサービスも考えて行きたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の入所前の生活歴をもとに家族や本人の思いを、十分に聞き入れサービスを、決定している。	○	利用者の入所前からの生活歴を家族や本人から伺い少しでも本人が新しい生活に馴染める様、配慮して職員が他の利用者との仲介をするようにしている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の大先輩であると言う敬意を持ち接しさせて頂いている。又、昔の話を聞いたり(生活習慣等)して、学ばせてもらい支えあう関係を築いている。	○	昔懐かしい手遊び・唱歌・家事・伝統食等(言い伝え)を、世代の異なる職員が、教えて頂き、そこからコミュニケーションをとっている。

岐阜県 グループホーム めぐみ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	些細な変化も電話連絡し、又、面会に来て頂く様に心掛けている。	○	年1回のシルバーカラオケ大会には、是非、出向いて貰い客席で見て下さるようなるべくお誘いして利用者の喜びが、更に増すよう努めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の気持ちと家族の気持ちを互いに聞き入れるようにしてグループホームが、クッション的な役割となって支えることが、できたら良いという思いで支援させてもらっている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の気持ちを大切にし、なるべく実現できるよう（面会の約束）支援している。	○	古くからの御友人等の面会を歓迎させて頂いている
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事やレクリエーション等、一緒の時間を共有できるので、お互いが、コミュニケーションが、とれるよう努めている。	○	利用者同士の生活の上で、起こる小さなトラブルの仲裁に入り、お互いが、なるべく辛い思いを、しないで済むようにフォローしている。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	先方の必要とする限り、そうさせて頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思を大切にし、できる限り希望、意向にそえるよう努めている。	○	遠慮して職員に伝え辛そうな利用者が、いるようであれば、こちらから声掛けをする。利用者1人1人の自分らしさを大切に思い好きな事（趣味）や、やりたい事を聞き、残存能力を生かす事が、出来る様手助けして行きたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時やその後も（外泊した際）馴染みの物を持ってきて頂く様にしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員日誌・バイタルチェック表・業務終了日誌・夜勤日誌等を元に、全職員が現状を把握するように努めている。又、それを計画書に反映するようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族・必要な関係者と話し合い、表現・アイデアをだして、それを元に介護計画を作成している	○	本人が、毎日安心して暮らせ、自分らしく過ごせる事を考え、家族の気持ちも大切に計画を作成するよう心掛けている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回のミーティングを行い、変化があれば作成している。	○	介護度の高い利用者の変化は、常にあるが、それを見極め現状にあった計画を、心掛けている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員日誌・業務終了日誌・夜勤日誌及び申し送りノートにて共有している。	○	必要で、あればより細かなチェックの記入欄を作成して行きたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームとしての支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	シルバーカラオケ大会の出場をしたり、ボランティアの方がたの来訪、防火訓練、絵画・版画・花等の展示会の見学。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームとして必要が、あれば利用している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回の運営推進会議への出席を、依頼している。		

岐阜県 グループホーム めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回、往診を受けている。	○	往診までの間に急な体調の変化があれば、職員の判断後、すぐに状況を連絡して指示を仰ぐ。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけの精神科医に電話若しくは、本人も受診し状態を診てもらい、その都度、相談し継続的な治療を受けられるような支援をしている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームの中で、看護職員として勤務している。主治医との連携を密にしている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院の際、家族と話し合い、入院期間は職員が、毎日面会、必要であるものの補充、洗濯する。代表管理者と職員が、医療機関と連携を図っていく。退院は、医師の指示で決定する。	○	入院中に医療関係者からの情報を頂き利用者の状態を常に把握し、利用者の不安を取り除く様に努めている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	基本的には、重度化や終末期は、病院での医療を受ける様決めている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアについては、研修や勉強しているが、終末期は、医療を受ける事を基本としている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	保健・医療・福祉との関係、家族とは事前に面談をし話し合いや他施設へ見学に行つて頂く。留意点は共有して貰っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、十分に気をつけ、言葉掛けには、かなりの注意を払うようにしている。	○	職員同士が、良くない声掛けを、していないか、又そういう事があれば、その都度お互いに、注意をしている。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員が、決める事は避け利用者が個人個人で決定出来る様、促す事を心掛けている。(納得のいく上で)		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日、状況は変わりますが、まずは利用者一人一人のペースを、大切に優先している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望があれば本人の好みもあるので、気にいった(馴染みのある)理容・美容院を選んで、望む店に行けるように努めている。		

岐阜県 グループホーム めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>利用者と手作り料理・おやつ作りと会話を大切にしながら楽しんで頂くよう取り組みをしている。 (季節の伝統行事に関わる伝統食)</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>排泄のリズムを保持する為に食物繊維の多く含まれる食品である果物や野菜を豊富に使用している。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>入浴希望の方を優先にするように配慮し入浴したくない意志も尊重するようにして無理のない入浴時間を心掛けている。入浴中での個別の会話も楽しんでいる。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>比較的若い利用者で昼寝の時間を好まない方には職員と一緒に買い物に行ったりして過ごし適度の運動をしていただくことにより夜間の気持ち良い眠りの為に支援している。</p>
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	

岐阜県 グループホーム めぐみ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族が、お金の管理をしてみえる以上は、グループホームとしては、管理の限界が、ありますが管理能力のある利用者に応じては所持して貰っている。(外出の時の食事代等)		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物の同行、近隣への散歩、花や畑の手入れ等をして頂いている。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	夏祭り・ドライブ・シルバーカラオケ大会等に参加する。家の法事、結婚式等の行事にも出る。(疲れない程度の短時間)定期的に家族と外出(外食)される人もいる。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	なるべく自由に手紙や電話のやり取りをして貰っているが、手紙等は、一気に集中して何枚も書く利用者も見えるので、その方には、自分で加減して書くように声掛けをしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問して貰っている。居心地良く次回も又、来て頂けるような声掛けをしている。	○	グループホームの中で生活していると、どうしても閉鎖的になってしまうので、来客の出入りは、刺激にもなり喜ばれる。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を、しないケアに取り組んでいる。	○	全職員にマニュアル等を読んで、理解して貰う。

岐阜県 グループホーム めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>万が一、事故等が発生した場合（ヒヤリ・ハット事故報告書）に記入し職員で、目を通し（事故の原因）（どうしたら予防できるか？）安全対策を考えて実行している。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県 グループホーム めぐみ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	その都度又は、面会時に現状を、はなしてリスクについて理解して貰っている。グループホーム側の対応についても説明している。	○	介護記録に明記している。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	グループホームに勤務している看護師に相談し指示を、仰ぎ小さな事でも気がついた事や変化は、迅速に伝えている。主治医や家族にも伝える。 (必要であれば受診する。)	○	日誌・申し送りノートに記入し伝達する。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬における変化は、直ぐに気が付くようにしている。通じ薬等は、排便リズムをみて調整している。	○	看護師が、マニュアルを作成し職員一人一人が、理解している。
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の食事の中で、食物繊維は、豊富に摂取している。1日に適度な運動を、して貰うように声掛けをしている。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1日2回は、最低、歯磨きを行うようにしている。自分で、出来ない方は、ケア用専用のスポンジ付きスティックを使用している。	○	誤嚥性肺炎予防の為に、口腔ケアは、しっかりして行きたい。参考資料を元に、勉強会をして行きたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	持病で、糖分(御飯等)の摂取を考えなくては、いけない方もみえるので、食事量を調節している。(配膳の時)水分もなるべく多く摂って貰うように声掛けをしている。	○	往診時に主治医に相談をしている。(月に1度の体重チェック)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い・うがい・タオルの消毒・消毒液の設置・手に触れる場所の消毒・トイレの塩素消毒・食器類の熱湯消毒の徹底をする。	○	関連マニュアルを読む。
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾・包丁・まな板等の定期的な消毒、野菜類の湯どうし、生物の加熱・冷凍保存をしている。2日に1回の買い物をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の家庭を目指している。庭木や花を育てているので、話題にする事が、よくある。親しみやすいように工夫している。	○	ベンチに座って天気の良い日は、腰掛けて談話できるようにしている。
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	古民家の空間を生かしている。玄関からのまぶしい光が入る場合は、居間の戸を閉めたり、自室に、まぶしい光が入る場合も夏季は、よしず等で遮る。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間・台所・事務所等、居心地のよい場所で過ごして貰う。		

岐阜県. グループホーム めぐみ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を、使用して頂いている。グループホームのレクレーションで手作りした物等、自室の壁に飾る。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	小まめに換気するように、気をつけている（古い建物なので、特に注意している。）湿気取り等の使用。（誤飲のないように気を付けている。）	○	消臭剤等は、必要に応じて使用している。（自室、トイレ等）
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存能力を生かすように歩行を、促す。老化には、手すりや1部スロープを付けている。すべり止めも付いている。	○	バリアフリーも細部まで、考えて行きたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のわかる力を、なるべく生かして、利用者に対する言葉掛けには、十分に注意し安心してなお且つ自立して暮らせるように工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダで、季節ごとの食事会を行事として行っている。外回りは、花を觀賞したり、畑で野菜を収穫したりしている。栗・梅等も収穫して季節を楽しんでいる。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホーム めぐみ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

代表者は介護職の経験があり、グループホームへの思いは深く、利用者様が楽しく喜んで頂けることに情熱を込めてケアにあたっています。設立当時から大切にしているキャッチフレーズ（花、歌、笑い）で職員も熱意を持って明るく楽しく利用者様に接しています。